

ひるがのだいこん 名古屋市民にPR

カネ井青果がフェア

郡上市高鷲町のブランド野菜「ひるがの高原だいこん」をPRするフェアが、名古屋市中区の青果店「カネ井青果セントラルパーク店」で2日間開かれ、用意された計400本を完売し



ひるがの高原だいこんを買い求める女性客＝名古屋市中区、カネ井青果セントラルパーク店

た。

JA全農岐阜とカネ井青果が主催。旬を迎えたひるがの高原だいこんの魅力を都市部の人にも知ってもらおうと、初めて企画した。

ひるがの高原だいこんは、標高900～千以上の高原で夏の冷涼な気候を生かして栽培され、6月から10月にかけて出荷される。旬の時期はサラダなど生で食べると、みずみずしさや柔らかさ、甘みがより楽しめる。

フェアでは1本、半分に切られたダイコンが販売されたほか、スティックサラダの試食も用意された。高田祐二店長は「ひるがの高原だいこんのおいしさを多くの人に知ってもらえた」と話した。(佐名妙予)